

令和6年7月11日

入札参加者各位

公益財団法人滋賀県環境事業公社

工事等仕様書に係る質問に対する回答について

令和6年度 第J-2号 クリーンセンター滋賀場内整備工事 仕様書に対し、令和6年7月10日付で質問のありました事項について、下記のとおり回答します。

記

質問事項	回答
<p>・金抜き設計書単25・26号について、2次単価の143・148号で砕石材料が計上されているにもかかわらず、砕石材料が2重に計上されています。この点について積算上の考えをご教授願います。</p> <p>・金抜き設計書単37号について、2次単価の169号U型側溝工について、延長2mの材料を使用しているにもかかわらず10mあたり10個材料が計上されています。この点について積算上の考えをご教授願います。</p>	<p>・金抜き設計書単25・26号の積算において、誤って砕石の材料費が2重計上されているが積算については、現設計のまま計算を行うこと。この間違いについては、契約後に変更設計により修正する。</p> <p>・金抜き設計書2次単価169号のU型側溝については、U型側溝の規格がL2000となっており標記が間違っている。正しくはL1000で、1個あたりの規格(延長)がL=1.0m/個の製品を使用するため、使用数量は10mあたり10個で変わらない。また、U型側溝 昼間 L2000 1000kg以下 制約無との標記については、土木標準単価排水構造物単価の規格・仕様L=2,000mmが表示されており、当単価をL=1,000mmを使用するため補正係数を乗じた単価を使用している。</p>

・金抜き設計書単70号について、2次単価の221号で、10mあたりの数量であるにもかかわらず、2mの材料が10個計上されています。この点について、積算上の考えをご教授願います。

・金抜き設計書単73号のベンチフリュームについて、10mあたりの数量であるにもかかわらず、4mの材料が5個計上されています。この点について、積算上の考えをご教授願います。

・金抜き設計書単83号の処分費について、設計書と積算条件明示書の単価コードが異なります。この点について、積算上の考えをご教授願います。

・金抜き設計書単128号の現場打ち水路中の鉄筋工について、施工規模などの詳細が記載されておられませんのでご教授願います。

・金抜き設計書単219号について、バックホウ施工にもかかわらずセメントのバラを使用することは施工上不経済であると愚考するものでありますが、この点について算上の考えをご教授願います。

・金抜き設計書2次単価の221号の積算において、2mの材料を使用するためU型側溝の使用量は5個が正解。

現設計では、誤って使用量を10個となっていることから、積算については今のまま10個で計算を行うこと。この間違いについては、契約後に変更設計により修正する。

・金抜き設計書単73号の積算において、ベンチフリューム(L=4m/本)を使用するため10mあたりの使用量は2.5本が正解。現設計では、誤って使用量を5本としていることから、積算については、今のまま5本で計算を行うこと。この間違いについては、契約後に変更設計により修正する。

・金抜き設計書単83号の処分費と積算明示書の単価コードが異なっているが単価的には、積算明示書の単価コードYZT0000001と同じ単価を使用している。

・金抜き設計書単128号の現場打ち水路中の鉄筋工に関する施工規模等については、図面および数量計算書より算定するものとする。

・金抜き設計書単219号については、現場の施工条件や規模等より改良材(セメント)のロス率等を考慮してセメントのバラを使用することとしている。

以上